

4 報告一(7)

■第65回道小旭川大会及び第74回全連小島根大会の

参加者割当等について（2分以内）・・・・・・・・未原

まず、第65回道小旭川大会への参加期待数についてご説明します。研修部資料の9ページの一覧をご覧ください。令和4年度の会員数については現在調査中ですので、令和3年度の会員数に基づき割り当てております。開催地区の旭川地区は100%、第2ブロックの上川、留萌、宗谷地区は70%、その他の地区は50%の割合として算出しております。発表者がいる分科会は、3名以上となるように配置しました。また、令和5年度に発表が当たっているところには、若干ではありますが、多く配置しております。

今回の一覧は、令和4年度の会員数が明らかになるまでの暫定資料としてご確認ください。令和4年度の会員数は若干減少する見込みです。最終的な割当につきましては、来年2月に開催される第5回理事研修会で、改めてお示しする予定です。

なお、感染症対策の状況によっては、割当が変更となる場合もありますことをご了承ください。

資料10ページに掲載しております旭川大会分科会一覧につきましては、全国大会の動向を踏まえて文言の微調整を行っておりますが、大きな変更はございません。

次に、第74回全連小研究協議会島根大会についてご説明いたします。研修部資料の12ページをご覧ください。日時は令和4年10月13日、14日、全体会場は島根県民会館、分科会場は、松江市内の公共施設とホテルで開催されます。

分科会は、資料19ページのとおり、13分科会で構成されており、北海道からの発表は、小樽地区が、第6分科会「健やかな体」の視点①を担当、そして檜山地区が、第9分科会「学校安全」の視点①を担当することとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。

島根大会の参加期待数については、20ページをご覧ください。島根大会実行委員会から割り当てられた数は49名です。今年度の石川大会に引き続き、従来の半数の割当となっております。そのため、各地区従来10%のところ、次年度も原則5%で割り当せていただきました。ただし、発表が当たっている小樽地区、檜山地区につきましては、計算上は1名となるところですが、発表者のみとならないよう、2名にしております。また、札幌は参加人数の内数となる役員が多いことから11名としています。各地区、ご確認いただき、ご準備願います。

なお、49名の割当に対し、51名必要となることから、島根大会実行委員会にご相談し、2名の追加をお願いしているところです。

以上でございます。